

公共事業環境配慮書

建設部 道路建設課

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	30-3	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	下伊那郡阿南町	
箇所名	新野拡幅	
事業年度	平成28年度～平成37年度予定	
事業概要		
目的	第2次緊急輸送路に指定されている国道151号の狭隘区間について、線形改良及び拡幅を行い、安全性及び円滑な交通を確保する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路改良工 延長L=2.3km 幅員W=6.5m(9.0m～12.0m)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は1,001台/日である 南信州と三河地域を結ぶ幹線道路	
土地利用の現況	北側0.6kmは農地、南側1.7kmは山地である	
生活関連施設の現況	北側0.6km区間には住居が点在している	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
水環境	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	【水循環の保全】	
・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
地形・地質	山地である	
	留意すべき地域の概況	
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変を出来るだけ避ける。	
	【改変面積の最小化】	
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		
・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。		
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
文化財等	留意すべき地域の概況	地域で親しまれている馬頭観音がある
	【文化財等への配慮】	
	・文化財等地域で親しまれている歴史的な建築物・構造物などやその周辺へ影響を及ぼすおそれがある立地を出来るだけ避ける。	
	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
廃棄物・建設残土	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	
光害	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。		
・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
【光害への配慮】		
・照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。		

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努めてください。	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努めます。
2	廃棄物・建設残土	自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努めてください。	自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努めます。